

講義名	英語多読(総合)			授業形態	
担当教員	藤岡 千伊奈	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

このコースでは、近年、全国的に最も注目されている英語学習法の多読を、全国的に他大学でも導入されているオンラインの多読プログラム【X-Reading】を主に使用して行います。この授業を通じて、自主的に英語を読む習慣を身に付け、リーディング力の向上を目指します。多読とは、「辞書なしで、日本語に訳すことなく自分がスラスラ読めるレベルの英書を英語のまま理解して大量に読む学習法」です。英語が得意でない受講生は、語数が少ない本(100語以下)から読んでいきます。単位取得のため、初級者は、最低150冊1.5万語・2万語以上、中級者は、100冊5万語・10万語以上、上級生の上級者は50冊20万語・30万語以上を読了することを目標とします。毎回、30~40分程度は、自分の多読状況をクラス全体で共有し、ペーパーグループで各自のあすめのシリーズや本の紹介・ディスカッション・アクティビティを行います。残りの時間は、オンラインで【X-Reading】のサイトにアクセスして、または、紙の本(図書館の多読図書)を自分でひたすら読むことに集中する授業です。1冊読み終えるたびに、本の理解度を確かめるクイズを受け、合格しない単語がカウントされないのを留意してください。よって、基礎英語が習得できていない初級者には、履修が難しい授業となります。紙の本で多読をしたい履修生にはその選択肢も与えます(図書館の多読図書を1冊ごとに読書記録表に本の情報・コメント等記入)。目標を達成して英語力を向上するためには、授業外で読み続けることが不可欠です。皆さんの前向きな姿勢・努力は成績にそのまま反映されます。

到達目標

1. 英語の本を読むことに慣れ親しみ、英語での読書を楽しむようになる。
2. 読むスピードを上げることができるようになる。
3. 知らない語彙も前後の文脈から意味を推測できるようになる。
4. 多読で、総合的な英語力(文法・語彙力・リーディング力等)を高めることができるようになる。
5. 多読を通して、異文化知識・思考力・共感力を高めることができるようになる。

提出課題

ブックレポート・課題があります。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

授業内、及び各課題に直接フィードバックします。

評価の基準

- 1) 授業参加度・授業姿勢(授業外多読も含む) 20%
- 2) 多読量 40%
- 3) ブックレポート・課題・口頭発表 30%
- 4) 期末テスト 10%

履修にあたっての注意・助言他

- * 第1回目の授業で、大事な「多読ガイダンス」を行うので必ず出席するように。
- * テキストは、【X-Reading】の使用ライセンス(サブスクリプション・カード)です。
- * 授業中、履修し・許可されたとき以外で携帯を触る学生は、その日「欠席」となるので注意すること。
- * 英語の基礎力が不足している学生や読んだ内容を日本語または英語で要約して書けない学生には履修を勧めません。
- * 5 回の出席しないと不合格となります。
- * キャンパスクロスを常にチェックするように。

教科書

.X-Reading 6-month subscription card.		Xreading VL	1,500円	978486539069
---------------------------------------	--	-------------	--------	--------------

参考図書

.なし.				
------	--	--	--	--

その他

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

回 授 業 計 画

- 1 Course Guidance
 - 本題: シラバスを熟読し、授業準備をする(2時間)
 - 復習: 配布された授業案内を振り返り、図書館の多読図書コーナーを確認する(2時間)
- 2 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 3 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 4 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 5 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 6 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 7 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 8 多読・多読の中間報告
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 9 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 10 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 11 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 12 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 13 多読
 - 本題: 読みたいシリーズ・本を探索し、授業外で多読する(2時間)
 - 復習: 多読図書を音読する、音声を確認しながら聴き読み、授業外で多読する(2時間)
- 14 多読・口頭発表(履修生が多い場合は、14回目と15回目に分けて実施)
 - 本題: 授業外で多読し、口頭発表の準備と練習を行う(2時間)
 - 復習: 授業外で多読し、口頭発表の準備と練習を行う(2時間)
- 15 多読・口頭発表・多読記録の最終確認(提出)
 - 本題: 授業外で多読し、口頭発表の準備と練習を行う(2時間)
 - 復習: 授業外で多読する(2時間)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション・ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、様々なテーマを題材とした洋書を多読することで、異文化知識・英語の読解力及びリーディング力の向上を図ることにより、卒業時に身に付けておくべきグローバル社会で必要とされる資質・コミュニケーション能力の育成を目指す。これらの能力は、商学部生に求められる「自業界の動向や問題を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「経済にまつわる情報分析の力」、人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理等」の様々なテーマの仕組むこと・コミュニケーション能力の修得につながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ICTの活用に関しては、オンラインの多読プログラム【X-Reading】を毎回、授業内外で使用します。双方向授業の実施については、提出したレポート・課題に対して講評します。質問を含め直接コメントします。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。

備考

* 履修することが可能な場合、授業開始後、スムーズにアクセスするため、速やかに【X-Reading】の使用ライセンスカードを購入してください。テキストであるライセンスカードを購入しないとオンラインで読むことができません。スタートが遅れてしまいます。